

第14回在宅認知症患者対策ネットワークを開催いたしました。

第14回 在宅認知症患者対策ケアネットワーク
テーマ『認知症高齢者における生活支援の課題』

日時：2017年3月4日(土) 14:00～16:00
 場所：東京医科大学病院 第一研究教育棟 4F 講堂
 東京都新宿区西新宿6-7-1 TEL.03-3342-6111(代表)

プログラム 総合司会:東京医科大学病院総合支援センター 藤平 輝明 様

開会挨拶 14:00 新宿区医師会 会長 木島 富士雄 先生

第一部 14:00～15:05 司会:東京医科大学病院総合支援センター 藤平 輝明 様

1. 杉並区における認知症の施策について
 杉並区保健福祉部高齢者在宅支援課 地域包括ケア推進担当課 係長 荒瀬 まゆみ 様

2. 在宅医療におけるかかりつけ医の役割
 杉並区医師会 窪田クリニック 窪田 茂比古 先生

3. 中野区における認知症高齢者の居場所
 中野区医師会 中村診療所 中村 洋一 先生

4. 新宿区における活動と今後の展望
 新宿区医師会 フジモト新宿クリニック 藤本 進 先生

5. かかりつけ薬局と在宅の取り組み
 杉並区薬剤師会 ミスト薬局 田中 英朗 先生

6. 介護者教室の効果－介護負担感、介護うつに対する－
 東京医科大学病院高齢診療科 櫻井 博文 先生

休憩 10分

第二部 15:15～16:00 司会:フジモト新宿クリニック 藤本 進 先生
 窪田クリニック 窪田 茂比古 先生

パネルディスカッション:フロアからの質問受付
 パネリスト:第一部で講演された6名
 荒瀬 まゆみ 様 窪田 茂比古 先生 中村 洋一 先生
 藤本 進 先生 田中 英朗 様 櫻井 博文 先生

閉会挨拶 16:00 東京医科大学病院高齢診療科 主任教授 梨生 春夫 先生

*日本医師会生涯教育制度がキャリアカード「13 地域医療」129 認知症の関与」の単位を取得できます。
 *お問い合わせ先:在宅認知症患者対策ケアネットワーク事務局 藤平 輝明
 東京医科大学病院総合支援センター:03-3342-6111 (内線 2127)
 共催 東京医科大学病院高齢診療科 / 東京医科大学病院総合支援センター
 新宿区医師会 / 中野区医師会 / 杉並区医師会 / エーザイ株式会社

※画像をクリックするとPDFでご覧いただけます。

今回は「認知症高齢者における生活支援の課題」をテーマに2部構成で行われました。第1部では、当院総合相談・支援センター 藤平輝明の司会により進められ、新宿区医師会長（木島内科クリニック院長）木島富士雄先生より開会の挨拶をいただいた後、杉並区保健福祉部高齢者在宅支援課地域包括ケア推進担当課係長 荒瀬まゆみ様より『杉並区における認知症の施策について』、杉並区医師会（窪田クリニック院長）窪田茂比古先生より『在宅医療におけるかかりつけ医の役割』、中野区医師会（中村診療所院長）中村洋一先生より『中野区における認知症高齢者の居場所』、新宿区医師会（フジモト新宿クリニック）藤本進先生より『新宿区における活動と今後の展望、杉並区薬剤師会（ミスト薬局）田中英朗先生より『かかりつけ薬局と在宅の取り組み』、そして当院高齢診療科 櫻井博文より『介護者教室の効果－介護負担感、介護うつに対する－』のご講演をいただきました。



第1部 講演会場風景

第2部では、藤本先生、窪田先生の司会により、第1部の演者がパネリストとなり、パネルディスカッションが行われました。



第2部 パネルディスカッション風景

本会は、かかりつけ医や保健師、看護師、介護士等、数多くの職種の方にご来場いただき、約90名程の参加者がございました。各職種の立場からのご質問にパネリストからの丁寧な回答や情報提供がなされる等、非常に活発で有意義な会となりました。